【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成24年11月15日(2012.11.15)

【公開番号】特開2010-145998(P2010-145998A)
【公開日】平成22年7月1日(2010.7.1)
【年通号数】公開・登録公報2010-026
【出願番号】特願2009-283120(P2009-283120)
【国際特許分類】
Ｇ１０Ｄ　3/04　(2006.01)
Ｇ１０Ｄ　1/08　(2006.01)
Ｇ１０Ｄ　1/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ１０Ｄ　3/04
Ｇ１０Ｄ　1/08
Ｇ１０Ｄ　1/10

【手続補正書】
【提出日】平成24年10月2日(2012.10.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
フィンガーボードを有する首部、後部、及び、前記フィンガーボード上を長手方向に延在する複数の弦を有する弦楽器用のカポであって、
弦上で前記フィンガーボードを横断して延在するように構成された上腕、及び、前記上腕に接続され、前記上腕に対して斜めに延在し、前記首部の略横方向に延在するよう構成される側腕と、
下腕回転部にて前記側腕に回転可能に取り付けられた一端を有し、使用時、閉じ位置にあるときに前記楽器の首部の背後に当接するように構成された下腕と、
前記下腕の回転取り付け部から離間した回転部にて前記側腕に回転可能に取り付けられた一端を有するレバーアームと、
前記レバーアームから調整可能な量で延在及び突出し、前記下腕に接して支持する端部を有し、前記レバーアームに搭載され前記レバーアームと共に回転可能である調整機構と、
前記調整機構の動作ラインは、前記側腕への前記レバーアームの回転取り付け部を通る、カポ。
【請求項２】
前記上腕から離れる方向で開位置に向けて前記下腕を付勢する付勢構造を更に含む、請求項１に記載のカポ。
【請求項３】
前記下腕に作用するスプリングを含む、請求項１～２のうちのいずれか１項に記載のカポ。
【請求項４】
前記スプリングは、下腕とレバーアームの間に作用する、請求項３に記載のカポ。
【請求項５】
下腕とレバーアームの間に作用するスプリングを含む、請求項１～４のうちのいずれか

１項に記載のカポ。
【請求項６】
前記スプリングは、捩りばねを含む、請求項５に記載のカポ。
【請求項７】
前記レバーアームを前記下腕に向けて付勢する付勢手段を更に備える、請求項１～６のうちのいずれか１項に記載のカポ。
【請求項８】
前記レバーアームは、前記下腕を内部に受け入れ可能な凹溝を画成する底壁及び立ち上がり側壁を有する、請求項１～７のうちのいずれか１項に記載のカポ。
【請求項９】
前記レバーアームの回転を制限するストッパを更に備える、請求項１～８のうちのいずれか１項に記載のカポ。
【請求項１０】
前記レバーアームの回転部は、下腕の回転部よりも前記上腕から遠くに離間される、請求項１～９のうちのいずれか１項に記載のカポ。
【請求項１１】
前記調整機構は、螺子穴に受けられるスクリュー螺子部を有する調整部材を含む、請求項１～１０のうちのいずれか１項に記載のカポ。
【請求項１２】
前記調整部材は、搭載穴内にかぎ挿入され、前記調整部材の軸方向の移動を可能とするが前記搭載穴内で前記調整部材を回転方向で固定する、請求項１１に記載のカポ。
【請求項１３】
前記螺子穴は、螺子穴部材に形成され、該螺子穴部材は、レバーアームに対して回転可能である軸方向に固定される、請求項１１又は１２に記載のカポ。
【請求項１４】
螺子穴部材は、レバーアームにおける対応する穴内に受け入れられる、請求項１３に記載のカポ。
【請求項１５】
前記穴は、段付きの穴であり、前記螺子穴部材は、前記螺子穴部材を軸方向に保持するためにレバーアーム内の段付き穴に当接する肩部を有する、請求項１４に記載のカポ。
【請求項１６】
前記レバーアームの穴は、外周のボスを有し、該ボスの上に、前記螺子部材を回転させるためにノブが搭載される、請求項１４又は１５に記載のカポ。
【請求項１７】
前記レバーアームの回転部は、調整螺子部材を受け入れるために回転ロッドの軸に垂直な交差穴を有する回転ロッドを含む、請求項１１～１６のうちのいずれか１項に記載のカポ。